置賜流域治水出張所通信

第208号　令和7年6月

東北地方も梅雨入り、本格的な洪水期が到来！

本格的な出水期の到来に備え、置賜流域治水出張所では「重要水防箇所合同巡視」、「許可工作物合同点検」や「排水ポンプ車の設置訓練」を実施しました。

重要水防箇所合同巡視　（実施日：5月19日･26日）

重要水防箇所とは、洪水時に危険が予想され重点的な巡視点検が必要な箇所をいいます。



▲ 担当者からの説明（マスコミ取材状況）



▲ 参加した関係機関の職員



▲ 現地で危険箇所を確認する水防団



▲ 佐藤町長の挨拶

重要水防箇所合同巡視は、**本格的な出水期を前に毎年実施**されており、**水防に必要な情報を共有し出水に備えることで、水災害を最小限に抑えることを目的**としています。
当日は、担当者から過去の災害実績や水防上の留意点などを解説。参加した白鷹町の佐藤町長をはじめ水防団や自治体の防災関係者らは真剣に耳を傾けていました。

許可工作物合同点検　（実施日：5月16日･20日･21日）

許可工作物とは、河川管理者（国交省）の許可を受けて設置された工作物をいいます。



▲ 荒砥第6排水樋管（白鷹町）



▲ 諏訪堰頭首工（白鷹土地改良区）



▲ 黒井堰導水橋（米沢平野土地改良区）



施設機能に**問題がない**ことを確認しました！！

許可工作物についても、**本格的な出水に備え機能や安全性に問題がないか、**河川管理者（国交省）と工作物の管理者で合同点検を実施します。
河川管理者と許可工作物の管理者が相互理解のもと、**必要な助言を行うことで、災害の未然防止、施設の効率的な維持修繕計画に寄与する**ことが期待されます。

排水ポンプ車・照明車設置訓練　（実施日：5月15日・20日）

排水ポンプ車とは、台風や大雨の影響などにより浸水した場所に迅速に移動し、荷台に搭載した排水ポンプ等を使用して排水作業を行う車両です。
照明車は、夜間における災害現場の応急復旧作業や監視等の照明として使用します。照明装置はブームなどにより高い位置から現場内を広範囲で照らすことができます。









▲ 糠野目排水樋管（高畠町）での訓練状況

この訓練は、**排水ポンプ車並びに照明車の操作技術を習熟**することにより、浸水被害が発生した場合においても**速やかに排水ポンプを稼働させ浸水時間の短縮を図る**ことを目的として毎年実施しています。

最上川200キロを歩く小学生探検リレー2025

「最上川200キロを歩く 小学生探検リレー2025」は、山形新聞、山形放送の８大事業の１つで、最上川を11区間に区切り、「ビックフラッグ」をバトンに最上川上流から河口までリレー方式で歩くイベントです。置賜流域治水出張所では第１週から第4週の４区間を担当しました。



▲ ビックフラッグ



▲ 最上川フットパスを移動



▲ 体験コーナー（樋門操作）

たくさんの体験を通して「最上川を大切にする思い」が深まったと思います♪



発行者：国土交通省 山形河川国道事務所 置賜流域治水出張所
〒993-0002 山形県長井市屋城町4-39
TEL:0238-88-2310／FAX:0238-84-1142
http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/okitama/

